

第2回下北地区統合校開設準備委員会における主な意見

1 校名案の方向性について

【各委員からの意見】

① 各委員からの校名案候補の提案

- 意見なし

② 意見募集の方法等

- あくまで委員が提案した10案から選んでもらうが、どうしても他に意見があるというのであれば、新たな提案も校名案候補の一つとすることができる道を残してほしい。新たな校名案候補が提案された場合、それらを参考に既出の校名案候補を修正したり、11案目として採用したりすることがあっても良いと思う。せっかく意見募集をするのであれば、多くの方の思いを知りたいし、他の校名案候補があるのであればそれを検討したい。
- 県教育委員会は全体に周知し、委員が主体的に自助努力で意見が出るように工夫するということの良いのではないかな。

③ 校名案の絞り込み方法

- 意見なし（多数決により決定）

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 校名案候補については、委員からの提案を基に協議により絞り込む方法とする。

2 総合学科の系列の方向性について

【各委員からの意見】

- 現在の大湊高校の4つの系列は、生徒のニーズと地域の特性を考慮し、平成14年に設置されたものであり、それ以来、熟成を重ね現在に至っている。よって、この4系列を統合校に引き継いでいくことができれば良いと思う。
- 昨年度、大湊高校は「キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰」を受賞していることから、ぜひこの系列を統合校でも継承してほしい。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 開設準備委員会における意見を踏まえ、生徒のニーズや地域の特性を踏まえた系列となるよう、開設準備室において検討を進めてもらいたい。

3 特色ある教育活動の方向性について

【各委員からの意見】

① 引き継ぎたい特色ある教育活動

- 「下北BOUSAIネットワーク」を統合校でも継続したい。また、大湊高校で実施している、様々な生徒のニーズに合わせた学習やオプション（選択肢）を組み込んでいくUDL（学びのユニバーサルデザイン）の研究や長く実施してきているねぶた運行を継続できれば良い。
- 下北BOUSAIネットワークでは、複数の学校が共同で本当に素晴らしい実践を行っている。また、むつ工業高校においても、民間団体等との共同研究や生徒の自主研究の発表を公開している。両校の素晴らしい活動をぜひ継続してほしい。

② 新たな特色ある教育活動

- 例えば、工業科の生徒が大学進学で数学Ⅲが必要となった場合、工業科にその科目がなくても、総合学科に開設している数学Ⅲを履修できるというように、大学科を越えた履修についても可能となるよう検討してほしい。
- 統合校においても、例えば、機械科では、機械加工、ロボット制御の類型、電気・エネルギー科では、電気、エネルギーの類型を設定するなど、生徒の進路志望に合わせて選択できる学習形態を作ることができれば良いと考えている。また、特色ある教育活動として、様々な資格取得に関する意見等を多くいただくが、学習指導要領においては、直接的に資格取得が目的となっているものはない。一部の科目においては、探究的な活動を取り入れたり、教科内でバランスを取ったりしながら資格取得を目指すものもあるが、一概に科目イコール資格取得ではないということを踏まえながら教育活動を考える必要がある。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見、下北地区統合校検討委員会からの要望、学校関係団体及び産業関係団体との情報交換等における意見を基本としつつ、開設準備委員会における意見を踏まえ、開設準備室において検討を進めてもらいたい。

4 総合学科と工業科の連携の方向性について

【各委員からの意見】

- 総合学科の健康福祉系列の生徒と工業科の生徒が共同で、医療機器の設計や改良を行うプロジェクトなどを実施できたら良い。また、総合学科と工業科を越えた自由選択科目を設定し、相互に履修することができれば良い。特に、両校ではSTEAM教育、アントレプレナーシップ教育をそれぞれの立場から行っていることから、良い形で融合させることができれば、波及効果があるのではないかと考える。
- 統合校の教育活動は、アントレプレナーシップと教科横断的な学習がメインだと思っている。また、大学科を越えての自由な選択履修ができれば良い。統合校では、下北版のSTEAM教育を行うことができれば、生徒たちにとって素晴らしいことだと考える。これらの取組によって、総合的な探究の時間や課題研究を充実させ、キャリア教育につなげていくことができれば、充実した教育課程の実現が図られるのではないかと考える。
- 総合学科と工業科の統合となると教育課程の編成にも時間がかかることが想定されるため、今年度からワーキンググループを設置し、下地を作っていくことが必要ではないかと考える。

【開設準備委員会における意見（まとめ）】

- 下北地区統合校教育内容等情報交換会での意見を基本としつつ、開設準備委員会における意見を踏まえ、開設準備室において検討を進めてもらいたい。また、教育課程の編成などに向けてワーキンググループを設置し、検討を進めてもらいたい。